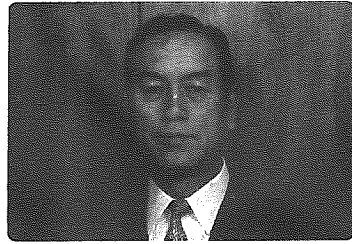


(追憶の風景)

# 小須戸公民館報

発行 小須戸町中央公民館  
〒956-0101  
新潟県中蒲原郡小須戸町  
大字小須戸117番地  
TEL (0250) 38-2234  
FAX (0250) 38-3041  
編集 公民館報編集委員会

## 2002年 新年 あけまして おめでとうございます いよいよスタート 完全学校週五日制!!



小須戸町教育長 和泉修治

二十一世紀の幕が開けられてから二度目の新年を迎えられ、町民の皆様には益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

二十一世紀は「心の世紀」とか「教育の世紀」とも言われ、教育改革の名のもとで多方面にわたって文部科学省からつぎつぎと政策が打ち出されてきました。

既にご存知のとおり、学校週五日制は、学校、家庭、地域社会での教育や生活全体の中で、子どもたちに「生きる力」をはぐくみ健やかな成長を促すものとして、平成四年九月からスタートし、段階的に進められてきました。そしていよいよ平成十四年四月からは、毎週土曜日を休みとする完全学校週五日制が実施されます。

年頭にあたって、小須戸町教育委員会として、皆様方にご理解していただき、十分にご理解していただき、学校、家庭、地域社会がそれぞれの役割を果たし、協力して子どもを育てることの現に向けて努力していただくために若干の紙面をとらせていただきます。

### 子どもはみんなの宝です!

#### ◎学校週五日制のめざすもの

学校週五日制は、学校、家庭、地域社会の役割を明確にし、協力して、豊かな学習・体験活動を子どもたちに提供することをとおして、子どもたちが自分で考え自分で行動できる力や周りの人を思いやる心、健やかな身体など「生きる力」をはぐくむことを目的としています。

学校においては、児童、生徒がじっくり学ぶ事をおして、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、自ら学び自ら考える力を育てます。

家庭や地域社会においては、学校週五日制によって、子どもたちの家庭や地域社会で過ごす時間が増えることから、子どもたちに基本的な生活習慣や生活能力を身につけさせ、思いやりの心や善悪の判断、社会生活上のルールなどを守る心を育てることが必要です。そのため、わたしたち大人が互いに知恵や力を合わせ、それぞれの持ち味を生かしながら、子どもたちと一緒に活動するなど、学校、家庭、地域社会全体で子どもを育てる体制づくりを進めていくことが大切になってきています。

#### ◎学校では

月曜から金曜までの教育活動を充実させて、読み、書き、計算などの基礎的・基本的な内容を確実に習得させ、自ら学び自ら考える力をはぐくむことが、学校週五日制のもとの学校の最も大きな役割です。

これによって子どもたちに主体的な学習態度や生活態度を育て、各教科や総合的な学習の時間で学んだことが、家庭での自主的な学習や調査研究などに発展できるようにします。

また家庭や地域、関連機関と協力して、土曜・日曜の過ごし方についての指導を適切に行い、子どもたちが目的をもった有意義な休日をお過ごしができるようになります。

#### ◎家庭では

社会で生活していく上での大切なことがらを、家族のふれ合いをおしてきちんと身に付けさせることが、これまでに必要になります。

「大人が変われば子どもも変わる。」大人一人ひとりが、子どもの模範となるように心がけましょう。そして子どもに対して十分な愛情と慈しみの心を持ち、真正面から子どもと向き合い、子どもと共に成長しようという姿勢を大切にしましょう。

#### ◎地域社会では

大人が子どもたちの成長を温かく見守りつつ、やさしく声をかけたり、時には厳しく叱ったりしながら、子どもたちをはぐくんでいくことが大切です。

地域社会が一体となってみんなで知恵を出し合い、子どもたちに豊かな学習・体験活動の場と機会を提供したり、指導者として積極的に子どもとかかわったりしながら、地域ぐるみで子どもを育てましょう。

以上のことからお分かりのように、学校週五日制が四月からスタートすることを機会に、学校や家庭や地域社会が大きく変わらなければなりません。

小須戸町教育委員会としても精一杯頑張りますので、よろしくご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

#### 投稿記事

水原町で慰問活動

私達は、水原町の特養ホームを慰問し、唄や踊りで喜ばれました。「元気でね、又来ますね。」と、名残惜しそうな握手が何とも言えないお別れでした。(女性の会こすど)



楽しい笑顔が、一番

#### 公民館運営審議会

議長 堀田英夫  
副議長 三輪恒昭

- 委員 古川 恒昭
- 委員 阿部 英昭
- 委員 木村 孝雄
- 委員 楠原 武衛
- 委員 中野 幸子
- 委員 八木 玲子
- 委員 城丸 幸子
- 委員 森田 幸子
- 委員 土田 幸子
- 委員 関根 幸子
- 委員 皆川 幸子
- 委員 藤川 幸子
- 委員 杉本 幸子
- 委員 高橋 幸子

## 恭賀新年

本年もよろしく願い申し上げます

中央公民館長 佐藤貞夫

- 小須戸分館長 栄森靖生
- 矢代田分館長 穴沢義雄
- 横水分館長 野崎迪夫
- 新保分館長 高山光栄

#### 館報編集委員会

- 委員長 馬場高志
- 委員 渡辺 怜子
- 委員 古川 満子
- 委員 斉藤 和彦
- 委員 富重 雅子

#### 図書委員会

- 委員長 内山和昭
- 委員 森田 義昭
- 委員 村山 迪子
- 委員 保科 富士子

#### ふれあい電話相談

教育相談をはじめ、いろいろな電話相談に応じます。  
◆2月の相談日 1日(金)・8日(金)・15日(金)・22日(金)

◆受付時間 午後1時～5時  
◆電話番号 38-3300  
◎お名前は、言わなくていいです。  
◎秘密は、固く守ります。

～おわび～  
12月号の公民館報で、喧嘩太鼓保存会の会費に誤りがありましたので、訂正いたします。  
(誤)年間3,000円、(正)月500円

# おらが地区の行事紹介

## 家内安全の願いを込めて

新保地区のしめ縄づくり  
新保地区のお宮は「神明宮と諏訪神社」が合社され、神社と名付けられています。今年も恒例により、奉納する注連縄を氏子三十名の皆さんが集まり、無事作ることが



受け継がれた技に真心がこもる

たい新年を迎えるにあたり、氏子皆さんのお考えから師走の月にいたしました。

幸運にも皇室では、新宮様ご誕生のめでたい佳き月となり参加された皆さんの意気込みも、お顔に現われておりました。

行事を始めてから二十有余年、休み無く続けられた注連縄づくりは、長く大切に受け継がれて行くことと思います。

新保地区(川瀬 記)

## 今年も豊作

横川浜、鎌倉地区の収穫感謝祭  
十二月二日(日)に第一回鎌倉「収穫感謝祭」が開催され、十二月九日(日)には、今年で六回目となる横川浜「収穫感謝祭」が開催されました。

各集落とも子どもからお年寄りまで大勢の人達が集落センターに集い、各集落でとれたそば粉を使って、手打ちそばを作ったり、子ども達によるおにぎりコンテストやビン

## 第三十回記念 芸展入選作品の紹介



### 入選 「七言二句」

風間 文さん(書道)  
ポケ防止のために、これからも精進したい

### 奨励賞 「展覧足」

本多 和宏さん(書道)  
まんなかの文字を生かして作品全体に広がりを持たせるように苦心したのがこの作です

- 十一月二日(日)に第一回鎌倉「収穫感謝祭」が開催され、十二月九日(日)には、今年で六回目となる横川浜「収穫感謝祭」が開催されました。
- 各集落とも子どもからお年寄りまで大勢の人達が集落センターに集い、各集落でとれたそば粉を使って、手打ちそばを作ったり、子ども達によるおにぎりコンテストやビン

- 十一月二日(日)に町民体育館において開催されました。
- 大会結果 (敬称略)
- 男子団体の部
  - 一位 アルファークラブA
  - 二位 東北電力
- 女子団体の部
  - 一位 山信田正木(東北電力)
  - 二位 薬科玲子(新潟クラブ)

- 十一月二日(日)に町民体育館において開催されました。
- 大会結果 (敬称略)
- 男子団体の部
  - 一位 アルファークラブA
  - 二位 東北電力
- 女子団体の部
  - 一位 山信田正木(東北電力)
  - 二位 薬科玲子(新潟クラブ)

## ちよこつと一言 (166)

ハマッています  
それは、レクリエーションダンスです。  
公民館矢代田分館婦人学級の一講習会として、年一回から始まり、回数を重ね、美容と健康にと週一回に増えてきました。運動の苦手な私ですが、音楽に合わせてリズムをとって動いていると楽しいのです。軽く汗をかき、体はスッキリ、よく眠れ

矢代田三

白木康子さん



今では「サークル虹」として、ダンスだけでなく会費を集めて、お楽しみ会等も開いています。五十、六十、七十代が、メンバーです。希望としてはもっと若い方が増えれば、より楽しいのですが...  
木曜日の夜、ふれあい会館でやっています。月に一度でも時間のある方、私達に続き、私達を引っ張って行って下さる方、待ってま〜す!!

## 大会の結果

### 第二十三回 町民バドミントン大会

十一月二十五日(日)に小須戸小学校体育館において開催されました。

- 大会結果 (敬称略)
- 《親子ダブルスの部》
  - 一位 小柳健太親子
- 《高学年ダブルスの部》
  - 一位 堀裕也・五十嵐千穂
- 《小・中学生ダブルスの部》
  - 一位 五十嵐成奈・小柳匠兵
- 《一般ダブルスの部》
  - 一位 本多和宏・中野美香
- 《小学生初心者シングルの部》
  - 一位 小柳健太
- 《Bクラス・シングルの部》
  - 一位 堀裕也
- 《Aクラス・シングルの部》
  - 一位 高山郁弥
- 《一般シングルの部》
  - 一位 渡辺康二

## 催し物案内

### 老連「おたのしみ会」

に、御参加を  
唄と踊りで、一日楽しく...  
日時 二月十日(日)  
午前九時三十分より  
会場 中央公民館(三階ホール)  
※当日、飛び入りを三組まで、受け付けます。

### 再び「家族って何だ」

第二回 明るい家庭づくり懇談会  
日時 二月八日(金)  
午後七時三十分から  
会場 中央公民館二階会議室  
テーマ 「わたしの家庭づくり」  
進め方 気楽に、和やかに  
(1) 第一回の概要説明と話題の提供(館長)  
(2) 家庭づくりについて話したり・聞いたり  
(3) 来年度の教室づくり

第二十三回 町民バドミントン大会  
十一月二十五日(日)に小須戸小学校体育館において開催されました。

町民スキー教室  
日時 二月二十三日(土)から、二十四日(日)  
会場 五日町スキー場  
定員 二十名(小学生は保護者同伴)  
参加費 大人 七千五百円  
子ども 七千円  
(内訳) 宿泊費、朝夕食代  
※昼食、リフト券、レンタル費は別途負担  
申込 二月八日(金)まで  
参加費を添えて公民館へ  
主催 町教育委員会・中央公民館  
主管 町体育指導委員協議会

おもちをついたよ  
二学期も終わりに近いある日、二葉会役員の方々が中心となって、團恒例の餅つき会が開催されました。  
近ごろは、白で餅をつく家庭が少数派となり、昔ながらの餅つき風景が徐々に消えつつあるようです。  
遊戯室で湯気の上がる蒸し米を見て歓声をあげる子供がいたり、最初の目つぶしの意味がわからず、何をしているんだらうと思ってしまう子供もいる子もいました。  
いよいよ一人ずつ杵を持つ順番がくると、顔を紅潮させながら気合いを入れ、貴重な餅つきを体験しました。当日はみぞれ混じりの寒い日でした。



「みんなであつたよ! いただきま〜す」

## 催し物案内

おもしろ科学実験・工作教室  
雪の冷凍庫で楽しい実験(アイスシャーベット)と、どこでも遊べる簡単「手作りケン玉」作りをします。  
日時 2月9日(土) 午前9時~11時30分 会場 小須戸町中央公民館 対象 白根市・小須戸町の児童・生徒(低学年は保護者同伴) 定員 30名(先着順) 持ち物 ペットボトルキャップ付

を2個(1.5リットル1個、500ミリ1個) 参加費 無料 申し込み・問合せ先 1月18日(金)~25日(金)まで 白根地区理科教育センターへ(025-372-2924)  
◎おはなしのせかいへ(絵本の読み聞かせ)  
日時 1月26日(土) 午後2時~2時30分 会場 中央公民館(二階和室) 対象者 幼児から大人まで 読み手 読み聞かせボランティア 問合せ先 中央公民館

## 文芸欄

歩を返し美しき落葉を選びけり 佐久間久子  
何なくも小春の庭に夫とゐて 馬場綾子  
葉牡丹の目を巻き込みし色かたち 五十嵐香月  
雪吊の縄の結びに縁起あり 内山越楼  
歳月の通ぐるがままに龍の玉 間野良遊  
生きいきと老いの手捌き冬構 牧野信雄  
内親 王生 誕冬の望の月 間野えり  
長き夜書き損じてる筆ばかり 藤井ハルエ  
秋高し木影に入りてバスを待つ 田沢ひろし  
久しぶり波長合わせてまあ一杯 栗原ひさし  
人生の荒波に耐え私語ポツリ 我妻清作  
三猿を真似て波風耐える姑 増井都留  
一つ屋根下で波立つ世代の差 高橋ただし

シリーズ  
「今、子どもたちは」 (65)  
小須戸幼稚園

だが、軽く汗を流した後でもあり、園児と保護者が一堂に会し、つきたての餅を腹一杯いただきました。  
この子どもたちが成人しても餅つきが続くといいなあ。